

そのステージでの「トラブル・ノー・モア」と「ホット・ランタ」は『コンサート』に採用されたと言われてきた。しかし検証したところ、『レコーディングス』の音源と一致したのは「ユー・ドント・ラヴ・ミー」の後半（前半は3月13日の1st шоу。フルサイズでは74年の4ch盤に収録）と「ホット・ランタ」のみであった。また、従来13日2ndのテイクとされてきた「ダン・サムバディ・ロング」は12日2ndのものだと判明した。

ところで、このディスク2の「エリザベス・リードの追憶」を聴けば、なぜトム・ダウドがホーンを排除したか納得がいくだろう。

### ■ディスク3、4、5（3月13日：1st & 2nd）

三日間のコンサートの最終日でもあり、メンバーの気合いも違ったのだろうが、それにしても前日のショウが終わった後、トム・ダウドはメンバーたちにとどのようなマジックをかけたのだろうか。最終的にホーンは完全に排除された。そしてセトリリス

## 音源の波形を分析して、定説と日付が異なるものを発見!

作成=伊藤良哉

曲順	曲名	1971 Recordings	これまで定説だった日付	日付クレジットの出現
<b>At Fillmore East</b>				
1	Statesboro Blues	3/13 1st ■ ←	3/12 2nd	The Fillmore Concerts/SACD
2	Done Somebody Wrong	3/12 2nd ■ ←	3/13 2nd	
3	Stormy Monday	3/13 2nd (edited)	3/13 2nd (edited)	
4	You Don't Love Me	3/13 1st + 3/12 2nd	3/13 1st + 3/12 2nd □	The Fillmore Concerts
5	Hot 'Lanta	3/13 2nd ■	-	-
6	In Memory Of Elizabeth Reed	3/13 1st	3/13 1st	The Fillmore Concerts/Dreams
7	Whipping Post	3/13 2nd ■ ←	3/12 □	Dreams
<b>The Fillmore Concerts</b>				
1	Statesboro Blues	3/13 1st ■ ←	3/12 2nd	The Fillmore Concerts
2	Trouble No More	3/12 2nd	3/12 2nd	
3	Don't Keep Me Wonderin'	3/13 1st	3/13 1st	
4	In Memory Of Elizabeth Reed	3/13 1st ■ ←	3/13 1st + 3/13 2nd	
5	One Way Out	6/27	6/27	
6	Done Somebody Wrong	3/12 2nd ■ ←	3/13 2nd	
7	Stormy Monday	3/13 2nd (full)	3/13 2nd (full)	
8	You Don't Love Me	3/13 1st + 3/12 2nd	3/13 1st + 3/12 2nd	
9	Hot 'Lanta	3/12 2nd	3/12 2nd	
10	Whipping Post	3/13 2nd	3/13 2nd	
11	Mountain Jam	3/13 2nd	3/13 2nd	
12	Drunken Hearted Boy	3/13 2nd	3/13 2nd	

\*音源の波形を分析して、定説とは異なる日付クレジットが割り出された結果を示しています

\*■=従来盤と日付クレジットが異なるもの。『フィルモア』の「ホット・ランタ」は、今回の『レコーディングス』で初めて日付が判明

\*□=2010年発売のSACD盤(ユニバーサル©UICY9029 [2010])では、「You Don't Love Me」が<3/12 2nd + 3/13 1st>と順序違いに、「Whipping Post」は<3/13 2nd>とクレジットされている